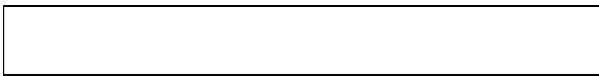


科目名 (英)	ファッションスタイリング	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	前嶋 / 緑川
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティー科					曜日・時間	火曜日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ファッション業界、小売業における基礎的な知識(シーズン、スタイリング、アイテム名称、カラー名、素材、リサーチ力など)とともに、プレゼンテーションの資料作成や発信方法の基礎の取得を目的とする。							
※講師:エストネーションカンパニーにて管理職(シニアマネージャー、スーパーバイザー)として就業後、東京コレクションブランドにてアドバイザー、新規事業コンサルタント、ブランドマネージメントを行う							
【授業を通じての到達目標】							
基本的なファッションやそれらを取り巻く知識を習得しプレゼンテーション能力向上や、業種や職種知識を習得してファッション・小売業界への知見を広げる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
授業毎にプリントを配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	ファッションとは？流行とは？情報とはどのように入ってくるのか？ 自分たちを取り巻くファッションについて考察する。(SNS、雑誌、広告などを調べ考察する)						
2	ファッションの基本的な知識(スタイリング、ディテール名称、素材知識、カラーなど)を知る。					5点	
3	ファッションのバックボーン(歴史やカテゴリー、コレクションなど)を知ることによって、ファッション、小売店舗の種類を理解してファッション業界の幅を知る。					5点	
4	中間テスト					20点	
5	アパレル以外のファッションについての理解。 (服飾雑貨、コスメ、ヘアメイクなどアパレルを取り巻くファッションについての理解)					5点	
6	スタイリングプレゼンテーション①(資料作成)					5点	
7	期末テスト					60点	
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価			
				A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)			
				D評価(60～69点)			
				E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法			
				評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	選択必修Ⅰメイク	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	久保・清水
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 木曜
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
〈久保〉外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告、バックステージで活動。並行して化粧品ブランドアーティスト							
【目的】 基礎的なことからメイクの応用までのメイクを学ぶ。講師から様々なメイク方法を学び、新しい発見やメイクの楽しさを感じてもらう。自分自身のメイクの幅を広げ知識を高める。							
【授業を通じての到達目標】							
質感・形・色について学びメイクの幅を広げる。学んだテクニックを活かし、顔の印象を変えられるようになる。（セルフメイク） ※相手にメイクをする事の楽しさを学んでもらう為、一部アイモデルでの実践内容有り							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式・筆記用具・iPad							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	オリエンテーション(自己紹介・授業内容説明・メイク道具の説明・セルフメイク)						
2	ファンデーションの種類と質感別仕上げ方(ツヤ・マット)					1点	
3	様々なアイブロウの描き方(シャープ・ソフト)					1点	
4	質感とグラデーションを活かしたアイメイクの仕上げ方(ブラシ研究)					1点	
5	つけまつげの選び方と付け方					1点	
6	中間テスト練習					5点	
7	中間テスト					20点	
8	印象別メイクが出来る様になる①(フェミニン)					1点	
9	印象別メイクが出来るようになる②(クール)					1点	
10	カウンセリングメイク(相モデルで印象別メイクの提案)					1点	
11	イエローベースのカラーを使ったメイクが出来る様になる					1点	
12	ブルーベースのカラーを使ったメイクが出来る様になる					1点	
13	カウンセリングメイク(相モデルでイエベ・ブルベカラーを使ったメイク提案)					1点	
14	スモーキーメイクが出来る様になる(定期テスト練習)					5点	
15	定期テスト(セルフフルメイク)					60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点） D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格） ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	選択必修Ⅰ ネイル	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	滝本
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜 1. 2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
この科目では サロンワークに必要な基本的なアートから流行りのアートまで様々なジェルアート技術を修得する							
内田由香： ネイル専門学校で専門知識を学びサロンワーク、出張ネイルを経てネイルサロンの立ち上げに携わってきました。 その後、各ジェルメーカーのインストラクターとネイル専門学校で講師を務め教育に従事しております 今後皆さんには試験官経験の経験も活かし知識と技術をお伝えします。							
戸川智尋： ネイル教育に20年以上携わってきました。 現在はネイル専門学校でも講師をしています。 日本ネイリスト協会では常任本部認定講師を勤めています。 各種ジェルメーカーのエデュケーターを務め、現場ではサロンはもちろんのこと、ネイル雑誌撮影、スタジオスチール撮影等様々な仕事に携わらせていただきました。 この経験を活かし役に立つ技術をお伝えします。							
【授業を通じての到達目標】							
基本的なジェルアートから流行りのアートまでを習得して、ネイルチップを作成できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎回の持ち物 ネイルの教材 ※フィンガーボール タオルは持参しなくてよい ハサミ 両面テープ キッチンペーパー ロールタイプ コットン							
回	授 業 概 要					持ち物	テスト配点
1	シラバス読み合わせ フリーエッジ 5パターンのファイリング【小テスト】 チップ台組み立て 目標：5種類の形を覚える					55・P9NN－6ニューースクエアアナチュラルリフィル 60・noiroネイルカラー 赤P002 61・NPコロン&747 W7-ス 62・PPH4 64・カブリタスターブラシ ミニ(ピーチ) 66・カブリテープ150枚入 ビンク 67・カブリラックエリ－220G 71・シャレードワ ウッドスティック スクエアS本入り 77・シャレードワオフスタッド NEW 90・ストス スポンジファイル180/220	小テスト20点
2	チップカラーリング アート(リボン、ハート)をチップに施す 目標：バランスよくムラなく繊細に描ける					55・P9NN－6ニューースクエアアナチュラルリフィル 60・noiroネイルカラー 赤P002 61・NPコロン&747 W7-ス 62・PPH4 64・カブリタスターブラシ ミニ(ピーチ) 66・カブリテープ150枚入 ビンク 67・カブリラックエリ－220G 71・シャレードワ ウッドスティック スクエアS本入り 77・シャレードワオフスタッド NEW 90・ストス スポンジファイル180/220 58・noiroトフコート 78・スペースネイル ポリッシュリムーバー(500ml) 82・ハニートキック210ml 3色6色セットC V2 84・ブルーシューアートブラシ#4011ラウンド 85・ブルーシューアートブラシ#407オーバール 86・ブルーシューアート7 #4055Dグラデー 87・ブルーシューブラシキャップ(筆キャップ)シルバ－	
3	アート(レース、チェック)をチップに施す 目標：バランスよくムラなく繊細に描ける					55・P9NN－6ニューースクエアアナチュラルリフィル 60・noiroネイルカラー 赤P002 61・NPコロン&747 W7-ス 62・PPH4 64・カブリタスターブラシ ミニ(ピーチ) 66・カブリテープ150枚入 ビンク 67・カブリラックエリ－220G 71・シャレードワ ウッドスティック スクエアS本入り 77・シャレードワオフスタッド NEW 90・ストス スポンジファイル180/220 58・noiroトフコート 78・スペースネイル ポリッシュリムーバー(500ml)	
4	ジェル ブラシのおろし方 ブラシの洗浄方法 ワンカラー ラメグラデーション					55・P9NN－6ニューースクエアアナチュラルリフィル 61・NPコロン&747 W7-ス 62・PPH4 64・カブリタスターブラシ ミニ(ピーチ) 66・カブリテープ150枚入 ビンク 67・カブリラックエリ－220G 71・シャレードワ ウッドスティック スクエアS本入り 77・シャレードワオフスタッド NEW 90・ストス スポンジファイル180/220	
5	グミネイル※シュガーネイル(ラメ) 1色 2色						
6	カラーグラデーション (スライド) デークネイル						
7	タイダイ ベツ甲						
8	大理石(オフホワイト ブラック ライナーホワイト)						
9	中間テスト ラメグラデーション メタリック						中間テスト 20点
10	縦グラデーション オンプレフレンチ						
11	ミラーボール(ラメ) ドットネイル(ホロ)						
12	キルティング(粘土 ジェル)						
13	粘土ジェル リボン ハート ニット						
14	チップの合わせ方 自爪に10本合わせる 10本セット作成						
15	10本セット作成					定期テスト60点	
			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

科目名 (英)	トレンド研究 (中間導入)	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	松原 佐藤 羽村
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
メイク・ネイル・エステ・ファッションそれぞれの業界の方に授業を受け、専攻選択に向けての思いを高める							
【授業を通じての到達目標】							
4業種の仕事のやりがいなどが理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	オリエンテーション 企業調べ・企業理解 グループワークによる企業シェア						
2							
3							
4						40点	
5	企業授業実施 (メイク・ネイル・エステ・ファッション) 振り返り・グループシェア						
6							
7							
8						60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) / D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			



科目名 (英)	ベーシックメイクアップ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	深井
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時間	(水)1・2限1-1 3・4限1-2
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
20年以上メイクアップの仕事に関わってきました。複数の美容専門学校で10年以上教育にも携わっております。技術の土台となる基本的なスキンケアやメイクテクニックのみではなく、マナーなどの知識もお伝えします。JESC検定の問題作成、テキスト「Basic Makeup」の監修、ヘアメイクにも携わる。 目的:フルメイクをするためのマナーやテクニックについて理解し、時間内に基本的なメイクアップを仕上げる技術が修得できるようになる。 概要:テキストに基づいてメイクをする際のポイントや注意点を覚え、相モデルでの反復練習と技術チェックで基本のフルメイク技術を学ぶ。JESCメイク検定科目でもあるが様々なメイクができるようになるためには重要な基本技術である。 筆記試験合格対策として、毎回Teamsにて筆記問題を出題。(小テストに反映)							
【授業を通じての到達目標】							
基本のフルメイクを30分で仕上げる技術を修得する。JESC検定(実技・筆記)合格。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
Basic Makeupテキスト メイク道具一式 筆記用具 iPad							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	4月17日	授業内容・ルール・教材確認・メイク前準備・スキンケア手順				1	
2	4月24日	テーブルセッティング・スキンケア実技・ファンデーション理論・実技				1	
3	5月1日	コンシーラー・フェイスパウダー理論・実技				1	
4	5月8日	ハイライト・シェイディング理論・実技				1	
5	5月15日	アイブロー理論・実技				1	
6	5月22日	メイク前準備～アイブロー実技				1	
7	5月29日	中間試験				実技20点	
8	6月5日	アイメイク理論・実技				2	
9	6月19日	リップ理論・実技				2	
10	6月26日	チーク理論・実技				2	
11	7月3日	時間配分・フルメイクデモ30分・フルメイク50分タイム取り				2	
12	7月10日	フルメイク40分タイム取り				2	
13	7月17日	フルメイク30分タイム取り・筆記模擬試験				2	
14	8月21日	フルメイク30分タイム取り・検定注意事項読み合わせ				2	
15	8月28日	定期試験・検定試験と同じように事前審査とフルメイクを30分で実施				実技60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ネイル検定対策	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	橋本勇人 内田由香
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日 水曜日 (4コマ)
学科・コース	トータルビューティー科	【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)					
橋本勇人： ネイリストとして24年間、店長、スタッフ育成、人事などにたずさわり、スクール講師としても20年以上勤めてきました。 この経験を生かしてこれから皆さんが学ぶネイルの基礎知識から専門知識を伝え検定試験3級合格までをサポートしていきます。							
内田由香： ネイル専門学校で専門知識を学びサロンワーク、出張ネイルを経てネイルサロンの立ち上げに携わってきました。 その後、各ジャンルメーカーのインストラクターとネイル専門学校で講師を務め教育に従事しております 今後皆さんには試験官経験の経験も活かしながら合格に向けて知識と技術をお伝えします ※日本ネイリスト協会からの検定試験講師が担当し、基礎となる専門技術と専門知識をお伝えします。 ※ J N E C ネイリスト技能検定試験受験経験が豊富にあり合格への重要ポイントを学ぶ事ができます。							
概要： この科目ではネイリスト技能検定試験を通して 衛生と消毒、爪の構造、爪の病変とトラブル、ネイルの技術形態、テーブルセティング、ネイルケア、ネイルアートに関する基本的な知識を理解し、 ネイルケアの安全な技術、各種カラーリング、フットアート (イラスト) ネイルアートの技術を修得する トータルビューティーを学ぶ学生にとって基本的な技術である							
【授業を通じての到達目標】							
ネイリスト技能検定3級に合格できるレベルに達している ファイリング、メタルブラスヤー、キューティクルコグラーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる							
【使用教科書・教材・参考書】 J N A デザインシステムバージョン 配布教材 コットン エプロン バスタオル1枚 フェイスタオル2枚 ハンドタオル1枚 ビニール袋(大きさB5～A4位、ノット位の大きさ) セロテープ キッチンペーパー (ロールタイプ) 2枚1組を6組以上 筆記用具 ハサミ メモ帳				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	シラバス、コマシラ読み合せ 教材説明 ネイルケアの用具用材と使用目的 p71.72 (ラベル貼り) テーブルセティング[基本的なテーブルセティング p70] 目標：教材の名称と使用目的を見える 基本的なテーブルセティングを見え実践できる						
2	学科[爪の構造と働き p16.17] テーブルセティング確認 教材ラベル貼りの確認 エプーボードの面取り確認 クッドスティックの仕上がり確認 [カットスタイル別ファイリングp85～91] 動画ファイリング練習(チップ) 目標：爪の名称を見え、構造と働きを検定試験までに見える 基本的なテーブルセティングができる 5種類のカットスタイルの特徴を理解し見える エプーボードの持ち方を理解し実践できる						
3	学科[爪の構造と働き p18.19] テーブルセティング確認、ファイリング復習 デモ練習 ブラスヤーの使用手法動画→相モデル練習 目標：爪の名称を見え、構造と働きを検定試験までに見える お客様の手の持ち方とどちらか加減を見える メタルブラスヤーの用途、持ち方、動かしか方、角度を見え実践できる						
4	テーブルセティング確認 ファイリング→ケアのデモ練習 相モデル 目標：ファイリング→ケアの手順を見え実践できる						
5	テーブルセティング確認 ファイリング確認 ケアデモ練習 相モデル 目標：正しい手順でファイリング→ケアが行える ブラスヤーとコグラーの正しい角度、持ち方、動かしか方、見えができる						
6	要項説明 1回目 (全2回) テーブルセティング確認 カラーリング デモンstrーション：動画[・ファイリング練習(チップ) ・カラーリング赤ボッシュ練習(チップ)] 目標：カラーリングの正しい見え、見えができる カラーリングのグラデーションのストロークの順番とグラデーションの角度、ブラシ圧を見え実践できる						
7	テーブルセティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート 両手5本 (右手親、人、中 左手親、人) 35分 ボッシュアップ (5分) 相モデル 目標：時間内に施術ができる 採点基準表の項目を見える 減点、失格を見える						
8	小テスト： テーブルセティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート 両手5本 (右手親、人、中 左手親、人) 35分 ボッシュアップ (5分) 相モデル 目標：自分のサイズに合わせてアートが描ける					小テスト20点	
9	●相モデルの1人目が中間テストを受ける 事前仕込み (ケア、ラウンド、カラーリングトップまで[60]※カラーリングの前にお手洗いを済ませておく ボッシュアップ、ファイリング、クランナップ (ケア) アート カラーリング (両手60分) 目標：時間内に施術ができる 減点、失格項目と採点基準が理解できている ※本曜日の定期試験で相モデルの2人目が定期試験を受ける ※休憩なし					中間テスト20点	
10	テーブルセティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート 両手5本 (右手親、人、中 左手親、人) 35分 ボッシュアップ (5分) 相モデル 目標：時間内に施術ができる 採点基準表の項目を見える 減点、失格を見える						
11	●相モデルの1人目が定期試験を受ける 事前仕込み (ケア、ラウンド、カラーリングトップまで[60]※カラーリングの前にお手洗いを済ませておく ボッシュアップ、ファイリング、クランナップ (ケア) アート カラーリング (両手60分) 目標：時間内に施術ができる 減点、失格項目と採点基準が理解できている ※本曜日の定期試験で相モデルの2人目が定期試験を受ける ※休憩なし 検定対策モデル同様取組					定期試験	
12	テーブルセティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート(相モデル) 目標：時間内に施術ができる 減点、失格項目と採点基準が理解できていて実践できる						
【特記事項】 7月14日 日曜日 ネイリスト技能検定試験3級				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	オリエンテーション導入教育Ⅰ	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	松原
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45 (3)	開講区分 曜日・時間	前期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
トータルビューティ科の2年間の学びが理解できる 自分自身が学ぶ目的を持てる							
【授業を通じての到達目標】							
トータルビューティ科の2年間の学びを理解し、自分自身の目標が設定できるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	オリエンテーション 学則について 学年暦について 授業の学び方について						
2							
3							
4						40点	
5	導入教育 クラス内役割について 清掃について 授業の持ち物・SNSマナーについて						
6							
7							
8						60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	基本:1組阿部 2組松原
		授業 形態	演習	税時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	
学科・コース	トータルビューティ科共通						金曜日
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ・担任が社会人経験を活かし、美容学生として自覚を持たせそれぞれの業界のプロを目指す心構えを持たせる。 ・業界のプロを目指すためにそれぞれの職種について、やりがい、職業につくための必要な努力を伝える。 ・学生1人ひとりの適性を踏まえて後期からの進路(専攻)を選択できるよう導く。							
【授業を通じての到達目標】							
目指す業界を知り、業界のプロを目指すにあたり必要なマナーや振る舞いを理解し、実践することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
iPad、入学宣誓書(担任回収&配布)				長期休みに自宅課題あり			
実施日	回	授 業 概 要				実施内容	備考
	1	【授業について】 ・シラバススケジュール、中間試験、定期試験、コマシラ確認 ・入学宣誓書(月目標の設定) 【相互理解】 ・クラス会議でクラスの問題を考えよう 「クラス会議を立ち上げる～効果的なコミュニケーション」					
	2	【アナウンス&アンケート】 ・原コラ ・サポートアンケート実施 ・ITリテラシー実施				・Teamsにてサボ案回答案内	
	3	【相互理解】 ・クラス会議でクラスの問題を考えよう 「異なる見方・考え方のワーク」 【原宿がキャンパス】 ・原宿&表参道マップ ・入学宣誓書(振り回り)					小テスト 10点
	4	【専攻理解を深めよう】 佐藤 ・メイクの業界とは？ ・どのような業界なのか理解を深める ・入学宣誓書(月目標の設定)					
	5	【専攻理解を深めよう】 竹澤 ・ネイルの業界とは？ ・どのような業界なのか理解を深める 【相互理解】 ・クラス会議でクラスの問題を考えよう					
	6	【専攻理解を深めよう】 阿部 ・エステの業界とは？ ・どのような業界なのか理解を深める					
	7	【専攻理解を深めよう】 松原 ・ファッションの業界とは？ ・どのような業界なのか理解を深める ・入学宣誓書(振り回り)					
	8	【中間試験】※注意※ 通常の中間試験は7週目だがプロ道だけ8週となります ・専攻アンケート① ・入学宣誓書(月目標の設定) 【相互理解】 ・クラス会議でクラスの問題を考えよう 「クラス会議シミュレーション」					中間試験 20点
	9	【7つの習慣】阿部先生 ・導入期間の3つの習慣のおさらい ・自分の習慣の見直し ・目標設定					小テスト 5点
	10	【人間力&専攻理解】 ・人間力の磨き方について① 阿部 ・メイク&ネイルの業界について ・専攻アンケート					
	11	【人間力&専攻理解】 ・人間力の磨き方について② 阿部 ・エステ&ファッションの業界について ・専攻アンケート ・入学宣誓書(振り回り)					小テスト 5点
	12	【業界について】 ・キャリアからの就職のお話 キャリアセンター:高橋、宮崎 ・専攻アンケート② 【相互理解】 ・クラス会議でクラスの問題を考えよう ※事前にテーマ募集 ・入学宣誓書(月目標の設定)					
	13	【専攻理解&検定対策】 ・オンデマンド配信 JESCメイク ・4専攻の特長とおさらい ・夏休みのすごしかた ・入学宣誓書(振り回り)					
	14	【相互理解】 ・クラス会議でクラスの問題を考えよう ※事前にテーマ募集 ・専攻アンケート③ ・入学宣誓書(月目標の設定)					
	15	【検定対策】 ・JESCメイクアップ検定 ・入学宣誓書(振り回り)					期末試験 60点
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	セルフブランディングプログラム	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	基本: 1組阿部 2組松原		
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間			
学科・コース	トータルビューティ科共通							前期	
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）									
・美容をトータルに学び体験しセルフブランディング出来るようにする ・業界のプロを目指すためにそれぞれの職種について、やりがい、職業につくための必要な努力を伝える。 ・学生1人ひとりの適性を踏まえて後期からの進路(専攻)を選択できるよう導く。									
【授業を通じての到達目標】									
目指す業界を知り、業界のプロを目指すにあたり必要なマナーや振る舞いを理解し、実践することができる。									
【使用教科書・教材・参考書】					【授業外における学習】				
iPad、入学宣誓書(担任回収&配布)					長期休みに自宅課題あり				
実施日	回	授 業 概 要			実施内容			備考	
4月18日	1	IT/DXリテラシーにいて			正しいITとDXを理解し、正しく使えるようになる				
4月25日	2	社会貢献			【社会貢献】校舎近隣を知り、地域へ貢献する				
5月2日	3	現場実習 マナー研修			【授業について】現場に行くためのマナー研修 【相互理解】安心して現場に行けるように言葉使い・身だしなみ・姿勢・ルールの理解をする				
5月9日	4	ヨガ レッスン			【心と身体を整える】呼吸、姿勢、瞑想を組み合わせ、心身の緊張をほぐし、心の安定とやすらぎを手に入れる。体力や筋力の向上、老廃物を出す、ポジティブ心やる気アップ、ストレスやうつ症状の緩和・耐性向上を目指す。				
5月16日	5	栄養学	10		【食べ物が身体に与える影響を理解する】 日頃の食生活を見直し、コンディションを整え身体の内側からキレイになる知識を学ぶ。				
5月23日	6	サステイナブルコスメ見学			ウィズ原宿開催のサステイナブルコスメ【ラキャルプ】の見学をし理解を深める				
5月30日	7	中間試験 メイクアップアーティスト講話	20		中間試験 ラグジュアリーブランドでのメイクアップアーティスト経験者からの講話				
6月6日	8	フレグランス授業			【トムフォード】香りについての授業				
6月20日	9	卒業生講話			【肌に触れて実感】 スキンケア商品の説明を受け正しいスキンケアの理解を深め、美肌になる知識を得る。				
6月27日	10	韓国コスメ	10		韓国の美容事情・コスメを使用し理解する				
7月4日	11	韓国語講座			国際教育 人気の韓国語を学び海外研修（希望性）で直接コミュニケーションが取れるきっかけを得る				
7月11日	12	金融リテラシー			金銭トラブルにならないように知識をつける				
7月18日	13	性教育			【人間の身体について理解する】 正しい知識を身につけて、性の科学的な情報を得る。				
7月25日	14	着付			【授業について】 ・浴衣着付け ・浴衣を自装出来るようにする。				
7/31 or 変更の可能性あり	15	調整中	60		専攻理解のもと、各専攻の店舗見学				
・美容をトータルに学び体験しセルフブランディング出来るようにする ・業界のプロを目指すためにそれぞれの職種について、やりがい、職業につくための必要な努力を伝える。 ・学生1人ひとりの適性を踏まえて後期からの進路(専攻)を選択できるよう導く。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					

科目名 (英)	選択必修Ⅰファッション	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	緑川/前嶋
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
学科・コース	TB科 ファッションコース						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) アパレル販売員として販売実務を10年以上経験し、その後接客に繋がる研修・運営・マネジメントを8年行ってきた講師から自らの体験をもとに得た基礎知識や実務の習得ができる。 またそれと同時に、時代やシーズンなどのファッション業界全体の流れやスタイリングについて必要な基礎知識やマーケットリサーチを中心に学ぶことができる。							
【授業を通じての到達目標】 基本的なファッションの知識を習得し、スタイリング提案に活かすことができるようになる。 リサーチ力を高め、常にトレンド意識を持つことでファッション業界に携わるものとして必要なマインドを身につけることができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
授業内容により資料を配布				ショップリサーチ 接客体験			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【ファッションとは】 ファッション業界特有のシーズンスケジュールや職種(仕事内容)について学ぶ。						
2	【カラー/素材/柄】 シーズンによるファッションの変化と区分け、色や素材が与える印象について学ぶ。						
3	【基本スタイリング】 様々なアイテムを使用し、ジャンル別のトータルコーデを意識したスタイリングを実践的に行う。					5	
4	【デザイン/ディテール】 アイテムのデザインやディテールについての基礎知識を学ぶ。						
5	【トレンドリサーチ】 今シーズンのトレンドを調べ、実店舗との比較を行う。						
6	【中間テスト】 試験内容:各自が調べたトレンドキーワードや前週の売り場リサーチを基にコラージュ作成を行う。					20	
7	【ブランドリサーチ】 ブランドマトリックスを使用し、ブランドのイメージや立ち位置などの理解を深める。						
8	【ブランドリサーチレポート】 自身の気になる企業やブランドをリサーチし、無知な相手にも伝わるプレゼンを行う。					10	
9	【販売心理と接客用語】 消費者の購買心理を学び、購買心理に沿った接客を心得る。また、接客の導入からお見送りまでの一連において場面別に必要な用語を習得する。						
10	【接客体験】 実店舗にて接客を受け、購買心理及び接客7大用語を体感する(レポート提出)					5	
11	【商品プレゼンテーション】 各自の持ち物のお気に入りポイントやメリットなどを相手に伝え、購買意欲や興味を高める練習を行う。						
12	【似合わせとは】 輪郭・骨格・肌色などタイプ別に似合うものを素材・カラー・デザイン・柄など様々な要素別に考える。						
13	【TPO別スタイリング】 テーマやシチュエーション別にコーデを考案、着せ替えを行う。						
14	【定期テスト準備】 チーム別に決めたモデルの似合わせを考え、プレゼン時のトータルコーデを考案する。						
15	【定期テスト】 試験内容:似合わせコーデプレゼン					60	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	エステティック	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	福岡
学科・コース	トータルビューティー科エステコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	火曜日1・2・3・4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
目的:エステティシャンで必要とされる技術や接客方法を学ぶ 概要:この科目ではボディマッサージ方法を学び、マッサージ手技やマッサージ中の姿勢や体重のかけ方など具体的に専門的に学びます。接客においては、お客様側を体験することでお客様目線で接客について学ぶことができます。 小池→大手エステサロンにてエステティシャンとして2年勤務・美容室エステ部門をエステティシャンとして9年担当 名尾→大手エステサロンにてエステティシャンとして4年勤務・リラクゼーションサロンにてセラピストとして2年勤務・エステサロンを2店舗(4年)経営 佐野→大手エステサロンにてエステティシャンを経験後、業界にて店舗開発、教育、化粧品・機器の開発に携わる							
【授業を通じての到達目標】							
ボディエステティックを通し、接客、マッサージなどのトリートメント方法を修得する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
実技マニュアルプリント・ボディ実技準備一式							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	オリエンテーション(授業の説明・小テスト・事前準備)ボディエステの目的効果						
2	基本手技について・前操作					小テスト10点	
3	スチームタオルの作り方・前操作・下肢後面(塗布～4)・スチームタオル拭き取り						
4	下肢後面(塗布～4)までの復習 中間テスト					中間テスト20点	
5	下肢後面(5～12)						
6	スクラブ～下肢後面(塗布～12)					小テスト10点	
7	うつ伏せから仰向けのご案内の仕方・下肢前面～10 定期試験					定期試験60点	
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	1・2年生交流会 1 and sophomore Meet-the-people session	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松原 佐藤 羽村
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	前期
学科・コース	トータルビューティ科						
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
【目的】 両学年の交流をすることで卒後のつながりを強化する。また2年生は1年生へ自分たちの得た知識・技術を披露することで自分たちが学んだコースの強みを理解する。1年生は2年生から施術を受けることで各コースで学べる内容を理解し、後期のコース選択のヒントを得ることができる							
【教員】社会経験13年以上ある教員が、社会に必要な知識「社会人基礎力」を中心に社会に必要な知識を教える。							
【授業を通じての到達目標】							
2年生は技能・知識を披露して1年生はコース選択の参考にすることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
筆記用具 スマートフォン				帰宅での調べ課題			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	1・2年生交流会に向けて各コース(MA/NL)の業態について調べ、各コースの特徴をまとめることができる						
2	1・2年生交流会に向けて各コース(ES/FA)の業態について調べ、各コースの特徴をまとめることができる						
3	1～2回の授業でまとめた内容をグループでシェアすることでより深く各業態について知ることができる						
4	1～3回の内容をもとに2年生と交流するコースを選択する						
5	4回目授業で決めたコースについて質問シートをまとめ						
6	選択したコースの先輩から施術をしてもらうことで自分の希望するコース・学ぶ内容を知ることができる ①						
7	選択したコースの先輩から施術をしてもらうことで自分の希望するコース・学ぶ内容を知ることができる ②						
8	6～7回の授業で施術してもらった先輩へお礼状を書くことで、自分が得た知識についてアウトプットを行うことができる						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	選択必修Ⅰエステ	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	福岡佐智代
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
				曜日・時間	木曜(1・2限)		
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) エステティックの楽しさを学ぶ。各種テクニックを理解し技術の習得を目指す。 (※ステーションとして長年経験し現在も多くのお客様方のケアをしている講師による授業である)							
【授業を通じての到達目標】 各種テクニックを理解し技術の習得を目指す。							
【使用教科書・教材・参考書】 各トリートメントのテキスト(プリント)・実技準備物一式				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	シラバス説明・自分の体を知る・疲れた体を楽にする						
2	むくみのない足に・足痩せセルフマッサージ					小テスト4点	
3	お肌のお悩み(ニキビについて)セルフケア						
4	お肌のお悩み(小顔について)セルフケア					小テスト4点	
5	お肌のお悩み(毛穴汚れ)吸引						
6	お肌のお悩み(毛穴汚れ)ディープクレンジング・パック						
7	お肌のお悩み(小顔について)小顔マッサージ					中間試験20点	
8	リフレクソロジー(足ツボマッサージ)						
9	リフレクソロジー(足ツボマッサージ)					小テスト4点	
10	背中マッサージ						
11	背中マッサージ					小テスト4点	
12	背中マッサージ・背中ディープクレンジング						
13	背中マッサージ・背中パック					小テスト4点	
14	背中マッサージ						
15	定期試験					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美肌検定 I	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	内藤麻代
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	金曜日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エステティシャン、エステティック講師として25年以上関わってきました。将来、美容業に携わる皆さん自身の為に美肌の知識を深めるとともに、周りの方にもアドバイスができるようになるよう、普段の生活にも参考になるような知識をお伝えします。目的:美肌検定に合格できるための必要な知識を学ぶ 概要:この科目では肌について専門的に学びますが、食事法や運動法、お手入れな方法ど幅広く学ぶことで、内外からトータル美容を学ぶ学生にとっても重要な基本的な知識である。							
【授業を通じての到達目標】							
美肌検定に合格する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
美肌検定テキスト							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	美肌の条件、美肌度チェック、美肌維持について(P.8～13)						
2	美肌ケアの基本、運動、栄養について(P.16～24)					小テスト4点	
3	皮膚の構造と働きについて(P.26～27)						
4	4つの肌タイプ、表皮のターンオーバー、真皮の構造機能について(P.28～31)					小テスト4点	
5	しわ、たるみについて(P.32～33)						
6	年代別お手入れ方法、男性の肌のお手入れ方法について(P.34～38)						
7	中間テスト（筆記テスト）					中間テスト20点	
8	細胞再生修復、睡眠とホルモン、女性ホルモン、お手入れについて(P.40～46)						
9	体調と肌、活性酸素とは、活性酸素の要因、紫外線について(P.48～53)					小テスト4点	
10	女性ホルモンと肌、温度・湿度と肌、季節にあったお手入れ方法について(P.54～59)						
11	クレンジングと洗顔、美肌を育む、与えるスキンケアについて(P.62～65)					小テスト4点	
12	化粧品の基本の使い方と選び方、化粧品の原料と役割、自分の肌に合う化粧品の見つけ方、薬機法						
13	フェイシャルマッサージの効果、美肌維持に関係する表情筋、セルフマッサージについて					小テスト4点	
14	美肌を作る簡単ストレッチとボディマッサージ、ハンドネイルケアについて						
15	定期試験（美肌検定試験）					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			